

第2学年 社会科学学習指導案

日 時 平成20年8月29日(金) 5校時
生徒 2年A組(男子14名 女子18名 計32名)
指導者 教諭 及 川 仁

- 1 単元名 さまざまな面から見た日本 「世界と日本の人口」
(内容(3)「ア 様々な面からとらえた日本 (イ) 人口から見た日本の地域的特色」)

2 単元について

(1) 教材観

本単元について学習指導要領では、世界的な視野から見た日本の地理的特色と日本全体の視野から見た国内の諸地域的特色を追究することによって、我が国の国土の特色を理解させるとともに、地域間を比較し関連付けて地域的特色を明らかにする視点や方法を身に付けさせることを主なねらいとしている。その中で「人口から見た日本の地域的特色」については、世界的視野から見て、日本は人口が多く、また、人口密度が高く、平均寿命が長い国であるという特色と、少子化、高齢化に伴う課題を抱えていることを理解させるとともに、国内では平野部に多くの人口が集中し、過密・過疎地域がみられることを大観させるとしている。

社会的事象としての「人口」は、地理的分野の学習の基礎・基本であり、公民的分野との関連も深い。後に学習する「資源や産業」「地域間の結びつき」からみた日本の特色を理解する上でも重要な内容である。

(2) 生徒観

- ・授業への取り組み、課題に対する生徒の反応等から、関心はある程度高いと思われる。全体的に意欲的に課題を追究する生徒が多いが、発言は一部生徒に偏る傾向にある。(関心・意欲・態度)
- ・社会的事象から疑問を見出す生徒は多いが、その事象の意義や特色等を多面的・多角的に考察、判断し、自分の言葉で表現できる生徒は少ない。(思考・判断)
- ・写真、文書等の資料を読み取ることに比べ、地図の活用や統計資料の読み取り・作成、いくつかの資料を比較したり、処理したりする技能は不十分である。(技能・表現)
- ・全国学力調査の結果を見ると、全国値と同等であるが、歴史的事象についての知識・理解が低い。また「応用・判断力」や「説明・表現力」は満足できない状況にある。考え、表現する基本となる知識・理解について、定着率向上の努力が必要である。(知識・理解)

(3) 指導観

昨年度の学習定着度状況調査では、「地図を活用し、類推・考察する力」や「複数の資料を活用し、総合的に判断する力」が不十分であるという課題が公表された。本校でも、資料を読み取ったり、自分の考えをまとめ、記述したりする問題での通過率が低く、「思考力」「表現力」の定着を図る指導が不十分であるという問題点が明らかになった。基礎的・基本的な内容の定着を図るためには、これまで以上に「思考力」「表現力」を身に付けさせる指導の工夫・改善が必要であると考えられる。

そこで、本単元では基礎・基本の確実な定着を図るための手だてとして、人口に関する分布図やグラフ、文献等の資料を丁寧に読み取る学習活動を展開することや、複数の資料から必要な情報を取り出し、順序だてて分析・考察する学習活動を位置づけたい。また、個人活動だけでなく、小グループでの意見交流を通して思考・判断・表現を促す場面を設け、自分の言葉で表現する活動を行わせることとしたい。これらの一連の学習を通じ、社会的なものの見方や考え方の育成につなげていきたい。

3 単元の目標

(1) 【社会的事象への関心・意欲・態度】

世界的な視野や日本全体の視野に立って、世界や日本の人口に関する特色や問題点を意欲的に追究している。

(2) 【社会的な思考・判断】

世界や日本、さらには日本の諸地域がもつ人口に関する特色や問題点について、比較したり関連付けたりしながら考察することができる。

(3) 【資料活用の技能・表現】

世界や日本の人口に関する特色をとらえるために、地図や統計グラフなどの資料を適切に活用することができる。

(4) 【社会的事象についての知識・理解】

世界や日本の人口に関する特色を理解することができる。

4 指導計画（総時間数5時間）

時数	学習内容	観点別の評価規準			
		社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断	資料活用の技能・表現	社会的事象についての知識・理解
1	世界の人口分布とその推移	世界の人口分布や推移から人口急増の原因や問題点、抑制策などについて関心を高め、追究している。	世界人口の急増の要因と、それによって生じる問題を考察することができる。		
2 本時	日本の人口と人口問題		少子化、高齢化が進んだことにもなる課題について考察することができる。	日本の人口構成の推移や各国との比較から、人口問題を読み取ることができる。	
3	かたよる日本の人口分布			日本の人口分布図から、人口が集中している地域や人口の希薄な地域がどのようなところに集中しているかを読み取ることができる。	日本では、平野部への人口集中が目立つ一方、山間部が過疎地域となっていることを理解できる。
4	過密の問題とその取り組み	人口分布における過密のもたらす地域的な課題について意欲的に追究している。	大都市が抱える過密の問題とその解決策について、さまざまな資料をもとに考察することができる。		
5	過疎の問題とその取り組み	人口分布における過疎のもたらす地域的な課題について意欲的に追究している。	過疎地域に関するさまざまな現状を、分布図や人口ピラミッドから読み取り、過疎地域が生じる要因と抱える課題を考察することができる。		

5 本時の指導

(1) 本時の目標

- ① 少子化、高齢化が進んだことにもなる課題について、考察することができる。【思考・判断】
- ② 日本の人口構成の推移や各国との比較から、人口問題を読み取ることができる。【技能・表現】

(2) 具体的評価規準

評価の観点	具体的評価規準		
	十分満足できる (A)	おおむね満足できる (B)	支援を要する生徒への 手立て(C)
社会的な思考・判断	少子化、高齢化が進んだことにもなる課題について、複数の視点から考え、まとめることができる。	少子化、高齢化が進んだことにもなる課題について、自分のことばでまとめることができる。	他の人の考えを参考にして、少子化、高齢化が進んだことにもなる課題について考えさせる。
資料活用の技能・表現	日本の人口構成の推移から、少子化、高齢化が進んだことを読み取ることができる。	日本の人口構成の推移から、少子化が進んだことを読み取ることができる。	人口ピラミッドの読み取り方を個別に支援し、変化の大きい部分に着目させる。

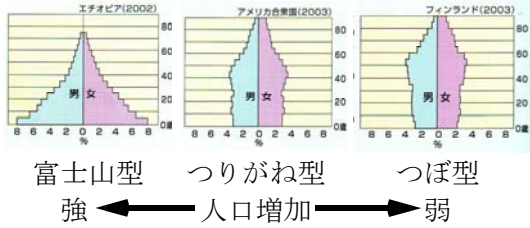
(3) 本時の展開

段階	指導内容	生徒の学習活動	評価(●)支援(※)留意点(・)
導入 5分	1 前時の復習 2 学習課題の設定	○前時の学習内容を確認する。 ・世界の人口 ・人口爆発 ・人口増加地域 ・人口集中地域 ○世界の人口問題を振り返り、日本の人口問題について学習することを確認する。	・資料を提示しながら挙手により簡単に確認をする。 ・教師から課題を提示する。
展開 35分	日本にはどのような人口問題がみられるのか		
	3 課題の追究 (1) 人口ピラミッドの見方	○人口ピラミッドが年齢別、男女別の人口構成をあらわすことを確認する。 ・縦軸, 横軸 ・左側, 右側	・教科書の例を参考に、人口ピラミッドについて丁寧に読み取らせる。
	(2) 人口ピラミッドの類型	○人口ピラミッドのおおまかな分類について確認する。 富士山型 (エチオピア) つり鐘型 (アメリカ) つぼ型 (フィンランド)	※各国の将来の人口予測をあらわすグラフを提示し、人口の増減傾向と人口ピラミッドの類型との関係をつかませる。
	(3) 日本の人口構成の推移	○年代の異なる日本の人口ピラミッドを比較し、「少子化」「高齢化」が進んでいることを読み取る。	●日本の人口構成の推移や各国との比較から、人口問題を読み取ることができる。【技・表】(観察・ワークシート) ※人口ピラミッドの読み取り方を個別に支援し、変化の大きい部分に着目させる。
	(4) 少子化, 高齢化にともなう課題	○少子化, 高齢化にともなう問題として具体的にはどんなことが考えられるか, グループで話し合う。 ○話し合った内容をグループごとに発表する	●少子化, 高齢化が進んだことにともなう課題について, 考察することができる。【思・判】 ※話し合いの根拠となる資料と, 読み取る視点をいくつか提示する。 ・問題の中でも特に重大だと考えた順に発表させる。 ・他のグループから出た意見で自分たちで出なかった見方や考え方は記入させる。
終末 10分	4 本時のまとめ 5 次時の予告	○人口ピラミッドからわかること, 日本の人口問題についてワークシートにまとめる。 ○岩手県と東京都の人口構成を提示し, 地域による違いがあることにふれる。	・何人か指名し, 発表させる。 ※自分のまとめの不足部分を補わせる。 ・日本の人口分布には偏りがあること, 国内の過疎化, 過密化につなげていく。

6 板書計画

日本にはどのような人口問題がみられるのか

○人口ピラミッド…年齢別、男女別の人口構成



○日本の人口問題 少子高齢化の課題は？

- 働く人が少なくなる
- 年金、医療の費用
- 学校がなくなる
- 経済が低迷
- 税金が不足する
- 介護施設の整備
- 国の借金が増える
- 物が足りなくなる

○日本の人口構成

子どもの割合が低くなっている。
少子化、高齢化が進んでいる。
 (富士山→つりがね→つぼ)

○まとめ

高齢社会の日本には、労働力の不足や、年金医療、介護の問題など、多くの課題がある。

7 座席表

教卓

※座席表の見方

性別 | 氏名 (イニシャル)
 認・理 | 思・分 | 応・判 | 説・表 ←全国学力調査の結果

- 認・理……認知・理解力 △：全国値を上回っている
- 思・分……思考・分析力 ≍：全国値と同等である
- 応・判……応用・判断力 ▼：全国値を下回っている
- 説・表……説明・表現力

軽米町の人口ピラミッドをつくってみよう

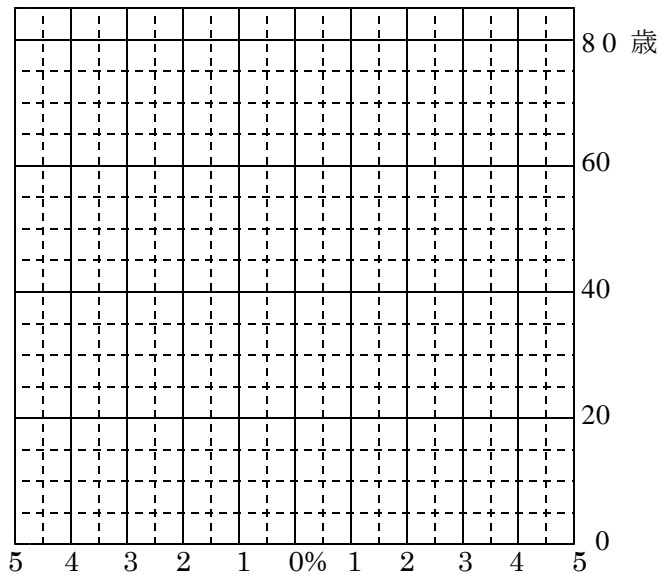
2年 組 番 氏名 _____

下の表を使って、人口ピラミッドをつくってみましょう。

▼軽米町の年齢階級別人口(2006)
男子 女子

年齢(歳)	総数(人)	男(%)	女(%)
80以上	872	2.5	5.1
75~79	811	3.0	4.1
70~74	872	3.2	4.4
65~69	853	3.3	4.1
60~64	708	3.0	3.2
55~59	916	4.5	3.5
50~54	958	4.4	4.0
45~49	748	3.5	3.5
40~44	689	3.3	2.7
35~39	602	2.8	2.5
30~34	492	2.4	1.9
25~29	474	2.3	1.8
20~24	488	2.1	2.1
15~19	604	2.8	2.5
10~14	608	2.7	2.6
5~9	445	2.0	1.9
0~4歳	350	1.5	1.5
総数	11,490	49.3	50.7

(軽米町ホームページほか)



※
グ
ラ
フ
を

作成して気づいたことを書いてみよう。